

高校生向け天文学者職業体験企画（もし天／君天）の活動報告と高等教育への展開

Y07a

田中 幹人 (東北大学)

本年度、東北大学天文学教室では、仙台市天文台と協力して、高校生向けの天文学者の職業体験企画「もしも君が杜の都で天文学者になったら。。。～高校生×東北大学×仙台市天文台=?～(もし天)」を開催した。もし天では、主に東北地方の高校生を中心とする11名の受講者を受け入れて、9月10月の休日を利用し、計7日間の日程で実施した。もし天は、国立天文台が12年間実施してきた「君が天文学者になる4日間(君天)」をもとにした企画で、研究テーマの決定から、データ解析、発表までの一連の研究プロセスを高校生が主体となっており、観測天文学者という職業を疑似体験できるところに最大の特徴がある。君天同様、参加したほぼ全ての高校生にとって、「天文学に対するイメージの変化」や「将来の進路選択」になんらかの刺激を与えていることが、実施後のアンケートから明らかになった。高校生への教育効果は概ねこれまでの君天と同じであるので、先行発表(2010年春季年会, 室井 Y13b, 水谷 Y14a, 塚田 Y15a)もあわせて参照していただきたい。

一方、もし天で高校生のサポートとして参加した大学生に、経験を通じて学習した内容について調査を行ったところ、もし天に参加することは、専門教育の内容に加えて、例えば、対人的能力、認知的能力、自己学習力・自己管理能力などの大学の全学共通教育において設定されているような学習項目を向上できる可能性があることがわかった。これらの学習内容は、専門分野や卒業後の進路にかかわらずすべての卒業生に求められる汎用能力・スキルであることから、君天型実習をアウトリーチや高校生教育のためだけでなく、高等教育としてとらえることもできる。これを踏まえて、本講演では、君天型実習の高等教育への展開の可能性についても議論を行う。